

オンライン授業のためのFDセミナー

本セミナー特設サイト <https://ctl.teikyo.jp/fd/others/onlinefd/>



第3回

オンライン授業相談&放談



進行

2020年10月23日
帝京大学高等教育開発センター主任
教育方法研究支援室室長
准教授 宮原俊之



第3回の目標

事前アンケートにて

- オンライン授業で悩んでいることや他の先生に聞いてみたいこと、うまくいっていること等についての**意見交換**をとおして、悩み・課題解決を行い、改善点を得て次の授業に活かすことができる。
- 第3回で確認いただきたいこと
 - 申込時にお寄せいただいた「オンライン授業について悩んでいることや他の人に聞いてみたいこと」に対するの解決策
 - うまくいったオンライン授業の展開
(Good Practice から学ぶ)



第3回のスケジュール

全体進行：宮原俊之

● セッション1

「オンライン授業について悩んでいることや他の人に聞いてみたいこと」
に対するの解決策の紹介

● 事例報告

心理学 I 高等教育開発センター 新原将義 先生

実用英語 ユニタス外語学院 千葉尚子 先生

● セッション2 質疑応答

オンライン授業のためのFDセミナー

【セッション1】



「オンライン授業について悩んでいることや
他の人に聞いてみたいこと」に対しての解決策
-事例報告を交えて-





本セミナー申込時のアンケートから

- 「オンライン授業について悩んでいることや他の人に聞いてみたいこと」の記入内容からの分類

1. コミュニケーション・モチベーション
2. テスト・評価
3. 宿題・課題
4. Zoom、その他

他に、LMSの設定方法についての記入もありましたが、時間の関係もあり、残念ながら本セミナーでは取り扱うことができません。

ICTサポートデスクにご相談下さい。

【ICTサポートデスク】

helpdesk@main.teikyo-u.ac.jp

内線5663



0. オンライン授業を設計するにあたって

- 授業を設計する際の基本に立ち返る
 1. 授業の到達目標とその評価基準・方法を考える
 - オンライン授業においてどのような課題で確認できるかを考えます
 - 学生の取り組みに対するフィードバックをオンラインでどのように行うかを考えます
 2. 学生の取り組みについて、授業の到達目標達成という成果がでるようになるためには、どのようなパターンでバリエーションが最適かを含めて中身とその展開を考えます
 3. 教材を準備します
 4. 期が終わったら振り返ります



0. オンライン授業を設計するにあたって

● 基本的な流れ



● 学生による活動について考慮したいこと

- 一人でできることは、集まって行わない
- グループ活動を行う際は、「個人→グループ→個人」
 掲示板での意見交換、ワークショップなど
- 段階評価を意識（成績評価のところでは触れません）

その目的は何か、何を重視したいのかを検討し、それにふさわしい授業方法を選択する



0. オンライン授業を設計するにあたって

● 教え方を考える時の理論

ID第一原理
1. 現実に起こりそうな問題に挑戦する(問題)
2. すでに知っている知識を動員する(活性化)
3. 例示がある(Tell me でなく Show me)
4. 応用するチャンスがある(Let me)
5. 現場で活用し、振り返るチャンスがある(統合)

● 動機づけを考える時の理論

ARCSモデル
A ttention: 注意: 面白そうだな
R elevance: 関連性: やりがいがありそうだな
C onfidence: 自信: やればできそうだな
S atisfaction: 満足感: やってよかったな

ガニエの9教授事象

1. 学習者の注意を喚起する
2. 授業の目標を知らせる
3. 前提条件を思い出させる
4. 新しい事項を提示する
5. 学習の指針を与える
6. 練習の機会をつくる
7. フィードバックを与える
8. 学習の成果を評価する
9. 保持と転移を高める

興味のある方は、
ブラッシュアップ研修を受講ください



1. コミュニケーション・モチベーション

- お寄せいただいた内容（悩んでいること、聞いてみたいこと）
 - LMSを使ってどのように学生交流をさせるか
 - フィードバックの仕方が知りたい
 - 生徒間での意見交換や共同ワークや発表をさせたいのだが、どうすれば効果的にできるのか
 - LMSでは生徒の反応がわかりにくい
 - 学生とのディスカッションの方法がよく分からない
 - 学生のモチベーションをどう上げるか、維持するか
 - 授業を面白くする工夫



1. コミュニケーション・モチベーション

- お寄せいただいた内容（うまくいっている（うまくいった）こと）
 - 学生からの反応が多く出るようになった
 - ゼミでの発表とそれに対するコメントがしっかりと全員に伝わり、発表の励みになった
 - 掲示板の活用がうまくいっている
 - 関連動画のURLをリンクに貼り、それを視聴させた



1. コミュニケーション・モチベーション

事例報告

「心理学Ⅰ」高等教育開発センター 新原将義 先生



1. コミュニケーション

- 他の方方法のご紹介

- 大福帳の活用

授業終了時に学生に書いてもらい（授業に関することであればなんでもOK）、翌週までに教員がそれを読み、必要があれば返事を書くということで、学生・教員間のコミュニケーションを実現しようとするもの。

期間をとおして、学びと教員とのやり取りを記録として残すことができる。

リアクションペーパー、ミニツツペーパーに似たようなものである。



1. コミュニケーション

- 他の方方法のご紹介
 - LMSを使用したeポートフォリオ

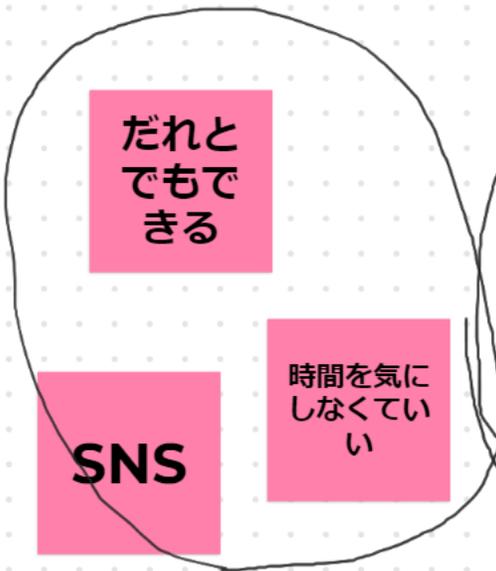
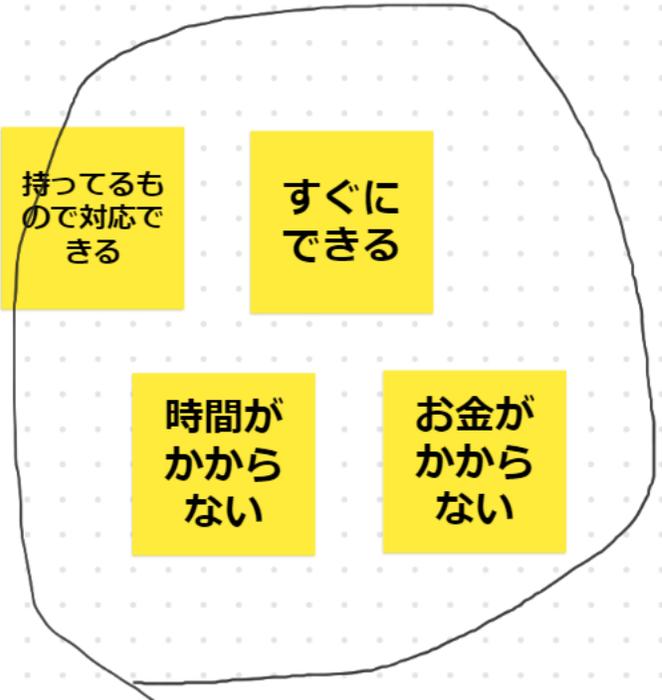
The screenshot displays an e-portfolio page titled "eポートフォリオ". On the left is a dark sidebar with navigation links: "八王子 (2019春期) - [共有]未来型学修デザインラボ (水2)", "ホーム", "写真", "教材", "過去のお知らせ", and "過去の企業の方からのメッセージ". The main content area shows a post dated "2019年7月24日" from "未来型学修デザインラボ" (new). The post text includes: "2019.07.24.Wed", "「最終授業」", "☆ICEの活用", "〈I・C〉 自分で学んだ (考える、理解する、あ、そうか、なるほど)", "〈E〉 協同学習→価値をつくった", "・自分にとって意味のあることをやったか", "[自己評価・他己評価]", "OC.T.Lからみたステルスラボ", "C.T.Lは模型をつくることが良かった、ステルスは一つひとつの内容が深掘されていた", and "OステルスラボからみたC.T.L". On the right, a "ブログの詳細" sidebar shows an "インデックス" for "2019年7月 (10)" with multiple entries for "未来型学修デザインラボ" and "ITOKI TOKYO XORK", along with entries for "2019年6月 (2)" and "2019年4月 (3)".

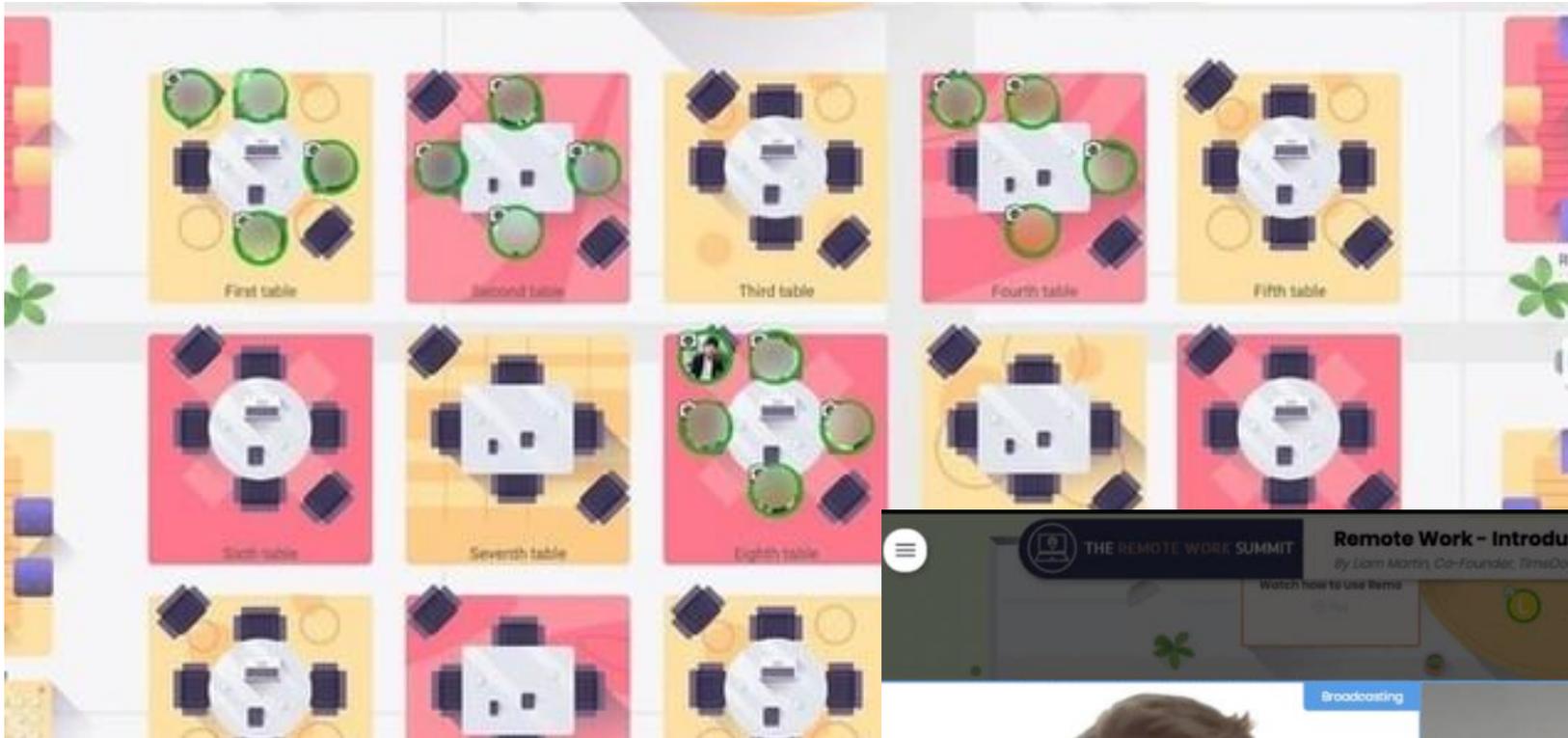


1. コミュニケーション

- 他の方方法のご紹介
 - 最近はやりのツール
 - ✓ Jamboard
「G Suite」のアプリの一つでクラウド版ホワイトボード
 - ✓ Remo
ポストZoom! ?直感的にグループワークができる
<https://remo.co/virtual-video-conference-japan-press/>
 - 規模別のフィードバックの例
テスト・評価のところであわせて

ブレインストーム





Remote Work - Introduction & Future
By Liam Martin, Co-Founder, TimeDoctor

Watch how to Use Items

- 10:30am EST Networking
- 11am EST Q&A with Liam Martin
- 11:30am EST Networking

Enter your question here...

is working remotely sustainable for long time?
8 votes

Lots of ppl looking for remote jobs. Sounds like you went straight into remote work as remote biz owner, so advice for those looking to be remote employees? Where to look? How to find the "right" job?
2 votes

Does remote work pays less than regular job?
1 vote

Need help?

Terms of Service and Privacy Policy

<https://remo.co/conference/>



2. テスト・評価

- お寄せいただいた内容（悩んでいること、聞いてみたいこと）
 - 期末テストの方法
 - 小テストやレポートの扱い方
 - LMS上でのテストについてエラーが多い
 - 授業内容の確認テストやコメント作成をしているが、人数が多いために個別の対応が難しい
 - テストの作成（出題・難易度）
 - 評価方法（受講態度や発言などの付加的な評価）
 - テストの不正行為防止



2. テスト・評価

- お寄せいただいた内容（うまくいっている（うまくいった）こと）
 - 講義（100名程度、Zoom）をしながら20分程度ごとに確認テスト（GoogleFormなど）をしたところ、集中力が続いた。休憩は、授業中に1度ほど取った。ただ聞いているよりも頭を使ったので内容を理解しやすいと感じた受講生が多かった（授業アンケートより）
 - 毎回、提出不要の「復習ドリル」を添付し、授業の振り返りを各学生に行ってもらった



2. テスト・評価

- 「文部科学省からの告示」と「多段階評価を意識」からオンライン授業の成績評価にあたり、従来型の持ち込み不可の一発テストはなじまない
- ツールとして考えられるもの
 - 毎回行うこと：
小テスト(クイズ)、リアクションペーパー、ミニツツペーパーなど
 - 数回行うこと：
レポート(グループワークの成果、発音動画や実技動画なども含む)
オンライン発表(成果発表(個人/グループ)、発音や実技など)



2. テスト・評価

- ① 同期/非同期による教員評価（フィードバック）
 - ・ フィードバックについては、個別または一斉
- ② 同期/非同期による学生相互評価（フィードバック）
- ③ 自動採点（自動フィードバック）
 - ・ フィードバックについては、個別または一斉
- ④ ルーブリックによる教員評価（フィードバック）
- ⑤ ルーブリックによる学生相互評価（フィードバック）

大人数授業で
活用しやすいもの

前のページのツールとのかけ合わせです



2. テスト・評価

- LMS上でのオンライン試験時の不正行為防止対策
 - ZoomとスマートフォンやWebカメラを使用した不正行為防止策について事例が多数出てきている
- 「文部科学省からの告示」と「多段階評価を意識」からオンライン授業の成績評価にあたり、従来型の持ち込み不可の一発テストはなじまない
<一つの考え方として>
前提：教育の目指すところ「何を知っているか」→「それを使って何ができるか」
期末テスト：授業で扱ったAとBを使って解くことのできるCを出題する
※Cは授業では扱っていないこと



3. 宿題・課題

- お寄せいただいた内容 (悩んでいること、聞いてみたいこと)
 - ・ 課題の出し方と頻度・難易度

事例報告

「実用英語」ユニタス外語学院 千葉尚子 先生



3. 宿題・課題

- 課題の出し方と頻度・難易度で意識したいこと
 - 課題の役割はなにか？
 - ✓ 形成的評価のため
学習者の学習を支援するために
 - ✓ 多段階評価のため
わからないまま授業を受ける続けることがないように
- 学修時間の考え方
オンライン授業では、授業時間と授業時間外の境界が曖昧であるため、対面授業と同じ感覚で課題を出すことによって学生は負担感を感じる
 - 授業時間外学修も含めた形での授業設計が必要であり、
学生との共通理解が必要



4. Zoom、その他

- 次回、Zoomを取り扱います。

オンライン授業の作り方: Zoomの基本操作と簡単な動画の作成

<研修概要>

- Zoomによるリアルタイム授業の基本的な操作方法を紹介します。
- Zoomによる動画の作成方法(一例)を紹介します。



4. Zoom、その他

Q) 音声データのアップロードで授業をしていますが、ズームでのリアルタイムでの講義をしてもよろしいでしょうか？

A) 秋期の授業につきましては、問題ありませんが、学生は学内ネットワークを使っての利用はできません(ただし、一定条件下で使用することのできる「ZOOM 授業受講専用席」がMELIC・ACT3 に準備されています)。

なお、使用に際しては、教務グループにアカウント申請をし、そのアカウントを使用して行ってください。また、対面授業科目の中での使用について今後報告を求められることがあるようです。



4. Zoom、その他

Q) パワーポイントに映像を入れた後の保存に時間がかかりすぎます。もっと保存時間を短くできないでしょうか？出だしだけ映像を入れて、その後は音声だけにすると保存時間も、アップロード時間も短縮できると聞きましたが、どのように操作すれば、それが出来ますか？

A) パワーポイントで作成した資料をmp4など動画形式に変換してLMSへアップすることはできません。この場合は、Youtubeなどにアップし、リンクをLMSに設定してください。

パワーポイント形式でアップしている場合についても、スライドに動画を埋め込むことは避けてください。動画部分のみYoutubeにアップし、リンクを資料の中やLMSに設定するなどの対応が必要です。



ここから質疑です（セッション2）

- Zoomのチャットから、いただきましたご質問に回答していきます。
- 時間の都合によりすべての質問に回答できない場合がありますのでご了承ください。



スケジュール

回	日時	テーマ	開催方法
1	8月17日(月) 14時~15時	オンライン授業のための授業設計と成績評価	Zoom (オンライン)
2	9月11日(金) 14時~15時	学生は春のオンライン授業をどう見たか <研修概要> ・春期に全学生を対象に実施した「オンライン授業に関する調査」の全体傾向を報告します。 ・学生の自由記述コメントから見えてきた、学生に支持されるオンライン授業の特徴を紹介します。	
3	10月23日(金) 14時~15時	オンライン授業相談&放談 <研修概要> ・オンライン授業で悩んでいることや他の先生に聞いてみたいこと、うまくいっていること等について意見交換を行います。	
4	11月13日(金) 14時~15時	オンライン授業の作り方:Zoomの基本操作と簡単な動画の作成 <研修概要> ・Zoomによるリアルタイム授業の基本的な操作方法を紹介します。 ・Zoomによる動画の作成方法(一例)を紹介します。	
5	12月~1月	オンライン授業のための授業設計(発展編)	
6	12月~1月	オンライン授業のための成績評価(発展編)	



オンライン授業相談 & 放談

本日は、セミナーにご参加いただきありがとうございました。
この後、アンケートのURLをお送りいたしますので、
アンケートへのご回答のほど、よろしくお願いいたします。

授業設計のご相談は・・・

高等教育開発センター教育方法研究支援室まで

<http://ctl.teikyo.jp/support/>

本セミナー特設サイト <https://ctl.teikyo.jp/fd/others/onlinefd/>

